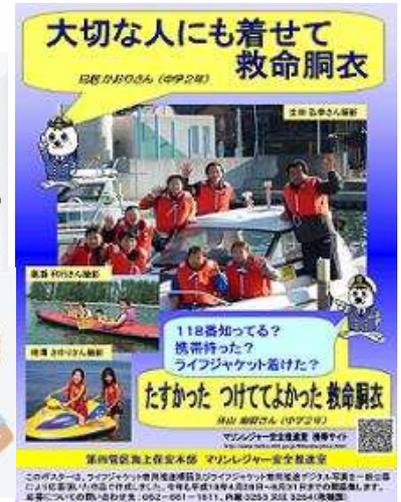


大切な命は自分で守るための『マリンセーフティガイド』

①安全運航 8つの基本

- その1 無理のない運航計画をたてる。
- その2 天気予報の確認、気象・海象の変化に注意する。
- その3 出航前には、船体・機関を点検する。
- その4 定員オーバーをしない。
- その5 海上交通ルールとマナーを守る。
- その6 見張りを励行し、船位を確認する。
- その7 ライフジャケットを着用する。
- その8 万一に備え、連絡体制を確保する。



②自己救命確保 3つの基本

海上保安庁では、大切な命を自分で守るため、そして、一人でも多くの人を救助できるよう、次の3つの基本としています。

- その1 ライフジャケットの常時着用!

もし、海中転落した場合、まず海に浮いていることが大切です。これには、ライフジャケット着用が有効です。ライフジャケット着用者の生存率は約8割です!

- その2 携帯電話等の適切な連絡手段の確保!

次に、速やかに救助要請することが必要です。防水パック入り携帯電話だと海中転落した場合でも通話可能です。

- その3 118番の有効活用!

そして、事故を知ったときは、直ちに**118番**に通報してください。関係救助機関と連携し、直ちに救助に向かいます

救命胴衣



携帯電話用防水パック



海の事件事故は118番



③海に出かける時は!

マリンレジャーや釣り等で海に出る際には、予定(実施場所・帰宅時刻・同行者の有無・着衣の特徴等)を必ず家族に伝えましょう。

④救助のための船舶や航空機が見えた場合は!!

- その1 船が接近して来た場合は

救命胴衣に付いている笛を吹く、手を振ることでより発見されやすくなります。

- その2 航空機による捜索の場合は

身をかがめているよりも「大の字」になったり、タオルやハンカチを振ったり、布を流すことで自分を大きく見せることにより「点」からの捜索から「面積」の捜索に変わり早期の発見につながります。

- その3 ヘリコプターによる捜索の場合は

正面や真下の捜索は難しい場合が多く、真上を通り過ぎて行っても反復して捜索しているので、ヘリコプターの側面が見える時に、上記その2のとおりすると、より発見されやすくなります。また、この際も事前に着衣の色が判っていると、より早く発見に結びつきます。